令和７年度　埼玉県高等学校ＰＴＡ連合会　生徒指導専門委員会研修会　参加報告

日　時：　令和７年11月５日(水)10:00～12:00
会　場：　埼玉会館 小ホール
参加者：　教育環境部２年　新名・古溝・大澤

研修次第

【司会・進行】　埼玉県立浦和高等学校ＰＴＡ副会長　福原　真吾 様
1. 開会のことば　埼玉県立春日部東高等学校ＰＴＡ会長　伊野　明美 様

2. 開会行事
(1) 委員長あいさつ　埼玉県立皆野高等学校ＰＴＡ会長　横田　昌弘 様
(2) 講評者紹介　（司　会）
(3) 発表者・校長の紹介　（司　会）

3. 研究協議
(1) 実践発表

東部支部　埼玉県立久喜工業高等学校ＰＴＡ会長　川口　由美 様

テーマ【久喜工業高校におけるＰＴＡ活動と生徒指導】

・遠方からの保護者にも学校との関わり合いを強くもってもらいたいという思いから、開校当時から出身中学校地域を７支部に分け、それぞれ独自の組織として運営してきたが、役員の負担を減らし会員数を確保する趣旨により、昨年末、支部の廃止が決定した。各支部から役員を選出していたが、廃止に伴い役員数が確保出来ない弊害が生じており、新たな選出方法を模索中である。具体的な活動では、①あいさつ運動（交通安全指導）②体育祭での受付・誘導、生徒の応援・健康観察、制服リサイクル活動 ③文化祭でのＰＴＡバザー、制服リサイクル活動がある。
制服リサイクル活動では制服を必要な方に販売、売上金は全額、赤十字社などに寄付している。

・高校での教育活動において生徒との接点も減少、今後ＰＴＡ組織としてできる指導のあり方を模索している。その中で年６回のあいさつ運動（交通安全指導）ではよい成果をあげている。

西部支部　埼玉県立狭山工業高等学校ＰＴＡ会長　村田　顕光 様

テーマ【ＰＴＡ活動の歩みと、生徒たちに託す未来】

・現在の組織は、会長・本部役員・学年委員・広報委員・会計監査からなる。生徒数減少に伴いＰＴＡ役員数も減少し、二つの分科会は解消となった。保護者の負担、生活スタイルを考慮し、回数を絞った支援にシフトしてきている。現在の主な活動は、運動会・マラソン大会での飲料配布、卒業式での記念品配布、広報誌発行の他、コロナ明けの新たな取り組みとして、文化祭へ出店、アイス販売を行い毎年盛況である。

・時代の変化に合わせ形を変えて活動をしているが、生徒達を支えるという根本の思いは変わらない。今後は行事の支援だけでなく、新しい形での生徒指導が必要である。18歳からの選挙権により高校生も社会を動かす一員となったので政治に関心を持ってほしい。また、日本文化やマナーを継承してほしい思いから「私服ＤＡＹ」の取り組みを行っている。

南部支部　埼玉県立浦和高等学校ＰＴＡ会長　清水　将寛 様

テーマ【埼玉県立浦和高等学校におけるＰＴＡ活動と生徒指導】

・執行部を中心に総務部・厚生部・体育部などの五つの専門部に各学年70名近い保護者が所属、自主的な参加により組織が支えられている。保護者同士がサークル活動のような感覚で交流を深め、生徒達には「泰然自若」の態度で成長を見守っている。

・競歩大会への協力…昭和初期からの伝統行事であり、現在は茨城県古河市まで約50Kmを７時間の制限時間で向かう。令和５年度には303名の協力があり、６関門、133の交差点に保護者を配置し、医師、警察、沿道の方々のご協力と教員、ＰＴＡが一体となり実施されている。

北部支部　埼玉県立熊谷西高等学校ＰＴＡ会長　　新　みどり 様

テーマ【自転車の安全利用に係る交通安全教室の実施について】

・長年、支部制での役員選出をしてきたが、在籍する生徒数のバランスが崩れてきたため、ＰＴＡ・後援会活動の負担軽減と持続可能な組織へ再編成するために令和 6 年度より学年単位の選出に変更、委員会数・理事定員を 85 人から 25 人まで削減した。

・交通安全教室の実施…令和 7 年度より埼玉県教育委員会の委嘱により、令和 7 年度自転車ヘルメット着用推進校となった。埼玉県警察によると自転車乗車時の事故死傷者数は高校 1 年生で急増し、その大半はヘルメット不着用が原因である。本校生徒に実施した調査アンケートでも、髪型が崩れるというのが大きな理由の一つで着用に抵抗を感じていることが分かり、交通安全教室を学校との共催で実施した。

・魅力的なＰＴＡ活動を継続していくために持続可能な在り方を模索してきたが、今回の研究でＰＴＡが一丸となることが大切であると感じた。今後も教職員・保護者の連携を強化していきたい。

(2) 質疑応答

質問：狭山工業高校の、18 歳からの選挙権についての話に共感した。他校ではどの様な取り組みをしているの聞いてみたい。

回答：熊谷西高校…テレビ、ユーチューブなどの話題から普段より話し合っている。

浦和高校…生徒新聞部で政党へのアンケートを行うなど生徒自ら日常的に行っているので、親は「泰然自若」に見守っている。

久喜工業高校…選挙の際には投票に行くように声掛けをしている。

質問：久喜工業高校のあいさつ運動について、早朝時だが遠方の保護者への配慮はあるのか。また、生徒と接点が持てる良い取り組みだと思うが他に良い時間帯はあるか。

回答：久喜工業高校…当番制なので遠方の保護者も行っている。また、下校時間は生徒によって違うので、働いている保護者の負担を考えると朝が一番良いと思う。他にも、文化祭、始業式などの行事の際も行っている。

浦和高校…保護者が学校へ行く機会が多く、生徒から挨拶をよくしてくれる。挨拶運動はしていない(必要性を感じない)

(3) 講　評　　埼玉県教育局市町村支援部生徒指導課指導主事　　篠田　健志 様

近年、不登校者は増加傾向にあるが、課を担当して五年の間に大きな転換があり、不登校への考え方が変わった。不登校は問題行動ではなく、必要なのは学びの場を提供し学習の確保をすることで進学先との連携も大切だ。各校が実情に合わせた素晴らしい取り組みをしている。高校でのよい活動が中学校など地域に浸透出来ていないのが課題だが、それは教育委員会の仕事である。また、生徒指導のあり方として、ここで言う指導とは、相談にのる、支援するいう考え方が大切である。

4. 連　絡　　埼玉県高等学校ＰＴＡ連合会　事務局　　川田　清隆 様

令和 5 年度より、ハイスクール２４還元事業としてＡＥＤ設置推進事業を始めており、応募のあった高校から 10 校を選考し設置を実施している。

5. 閉会のことば　　埼玉県立春日部東高等学校ＰＴＡ会長　　伊野　明美 様

所　感

各学校、様々な実情があった。時代の変化や生徒数の減少からＰＴＡ組織の縮小を余儀なくされた学校も多かったが、どこの学校のＰＴＡも、生徒達が安全により充実した学校生活が送れるように支援していきたい、という思いは同じであった。振り返ると、我が一女では、ＰＴＡ行事への参加率、満足度は高く、ＰＴＡ活動は活発な方であると感じた。これからも縮小されることなく、一女生達が安全で誇り高い学校生活を送るためのサポートを惜しみなくしていきたいと思う。子どもが小学生の時から関わってきたＰＴＡ活動について、今回、改めて見つめ直すことが出来た。その機会を頂いたことに感謝したい。

（文責・教育環境部）